

1 総合事業/生活支援体制整備事業

| 1-1 介護予防把握事業 | | | | |
|--------------|---|--|--|--------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | ○元気力測定会 区内5地域で年2回ずつ、運動機能・栄養状態・口腔機能の測定会として実施します。 | | |
| | | ○元気力（生活機能）チェックシートの実施相談数 平成30年度実績 窓口：305件 測定会・小集団：593件 | | |
| | | ○その他 65歳以上の区民の方に、チェックシートや介護予防の取組を記載したパンフレット（いたばし健康長寿100歳）を郵送し、事業の周知を行います。 | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 実施数 | 実施数の拡充 | 実施数の拡充 | 実施数の拡充 |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：- (介護特会)：12,077千円 | | | |
| | 上半期 | | 下半期 | |
| | <p>(予定)</p> 集団：5会場で元気力測定会実施予定 個別：地域包括支援センターで随時実施 「いたばし健康長寿100歳！（概要版）」パンフレット郵送 | | <p>(予定)</p> 集団：5会場で元気力測定会実施予定 個別：地域包括支援センターで随時実施 | |
| | <p>(進捗)</p> 集団：新型コロナウイルスのため5会場での実施は中止 個別：地域包括支援センターで随時実施 「いたばし健康長寿100歳！（概要版）」パンフレットを7月に郵送 | | <p>(進捗)</p> 集団：5会場で元気力測定会実施 個別：地域包括支援センターで随時実施 | |
| | <p>(課題と対応方針)</p> パンフレットを受け取った人が、チェックシートを実施、その後の相談につながっていくような効果的な方法を模索する。 | | <p>(課題と対応方針)</p> 個別について、各地域包括支援センターが工夫して取り組んでいるので、取り組み方法等の共有を図る。 | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：介護予防係 | | | |

1-2 地域リハビリテーション活動支援事業

| | | | | |
|--|--------------------------------------|---|--------------------------------------|-------|
| 計 画 記 載 内 容 | 事業概要 | <p>○リハビリテーションについては、要介護（支援）者などが、必要に応じて医療で実施する急性期・回復期リハビリテーションから、介護保険で実施する通所や訪問リハビリテーションサービスの利用や住民主体の通いの場への参加など、切れ目のないサービス提供体制の構築が求められています。</p> <p>○区では医師会、歯科医師会、区西北部地域リハビリテーション支援センター、リハビリテーション専門職、主任介護支援専門員、第1層・2層協議体生活支援コーディネーターなどを委員とする地域リハビリテーション連携会議を開催し、国の示す基本的な考え方を踏まえ、リハビリテーション提供体制の課題や区としてのめざす姿の検討に着手します。また、住民主体型介護予防事業等への多様な専門職の効果的な関与についても検討を進めます。</p> <p>○リハビリテーション医師や専門職を委員とするリハビリテーションサービス調整会議を開催し、要支援者等の心身機能や活動・参加を高めるための検討を行うとともに、必要な方へリハビリテーション専門職を派遣し、相談・支援を実施します。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 地域リハビリテーション連携会議 | 2回 | 2回 | 2回 |
| リハビリテーションサービス調整会議 (自立支援型地域ケア個別会議) | 各地域包括支援センター（おとしより相談センター） 2事例報告・検討 | 各地域包括支援センター（おとしより相談センター） 2事例報告・検討 | 各地域包括支援センター（おとしより相談センター） 2事例報告・検討 | |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：- (介護特会)：1,334千円 | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| (予定) ① 第1回地域リハビリテーション連携会議（6月） ② 自立支援型地域ケア個別会議（5.6.7.8.9月）5回 ③ リハビリテーション専門相談（PT、OT、ST）随時 ④ SC×リハ職合同大会（オンライン）9月 ⑤ 失語症会話パートナー養成講座（9月～） | | (予定) ① 第2回地域リハビリテーション連携会議（2月） ② 自立支援型地域ケア個別会議（10.11.1.2月）4回 ③ リハビリテーション専門相談（PT、OT、ST）随時 ④ ケアマネ向けリハ講座1月 ⑤ サロンリーダー向けリハ講座12月4回（内1回はオンライン開催） | | |
| (進捗) すべて、予定通り実施。 ①、②、④はオンラインを活用して実施。 | | (進捗) すべて、予定通り実施。 ①、②、④、⑤の一部がオンラインを活用して実施。 | | |
| (課題と対応方針) ○リハビリテーション提供体制の課題や区としてのめざす姿については、第1回連携会議で各委員からご意見を伺った。第2回には、引き続き目指す姿と具体策の検討を行う予定。 ○本年度から自立支援型地域ケア個別会議に第2 | | (課題と対応方針) ○連携会議を通じて、リハ提供体制の課題を以下のように整理した。リハに関する、①相談の充実、②生活期リハ提供の課題把握、③リハ終了者の通いの場へのつなぎ、④退院時連携・多職種連携、⑤コロナ禍など災害時対策、⑥障がい者施策との連携。今後、 | | |

| | |
|--|---|
| <p>層 SC も参加。生活機能の理解促進や地域の支え合い活動についての理解が広まっている。また、SC リハ職合同大会を実施し、10の筋トレの普及や支え合い会議へのリハ職の参加など取り組みが広がっている。</p> | <p>それぞれの課題に対して検討を進めていく。 ○自立支援型地域ケア個別会議は、第2層 SC が参加することで、地域課題の把握や地域資源など幅広い議論となった。今後個別事例対応力向上や地域課題の周知のため、事例集を作成、配布する。専門職と第2層 SC の更なる顔の見える連携のため、次年度も概ね同様の方法や対象で実施する。</p> |
| <p>担当</p> | <p>課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：介護普及係</p> |

1-3 リハビリテーション専門職による住民主体型介護予防事業

| | | | | |
|---|---------------------------------------|---|-------------|-------------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>○元気な方と虚弱な高齢者が一緒に週1回、10の筋トレを行うグループ（住民主体の通いの場）のさらなる拡充をめざし、動機づけ支援として体験・出前講座、立ち上げ支援として専門職派遣、継続支援・リーダー育成として地区合同筋トレやリーダー連絡会などを実施します。また、コロナ禍でも外出せずにできる通いの場「オンライン10の筋トレ」も開始しました。</p> <p>○住民主体の通いの場である福祉の森サロン希望団体へ、専門職を派遣し、膝痛予防、転倒予防等テーマ別トレーニング方法などを伝える介護予防プラス出前講座を実施し、介護予防の取組強化をめざします。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 10の筋トレグループ ^o 立ち上げ数（継続数） | 20 (100) | 10 (110) | 10 (120) |
| | 介護予防プラス出前 講座実施グループ数 | 20 | 20 | 20 |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：584千円 （介護特会）：4,152千円 | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| （予定） ① 10の筋トレ体験講座（6.7.9月） ^{※1} ② グループへのリハ職派遣（随時） ③ 地区筋トレ（6月）4回 ④ オンライン10の筋トレ（週1回） ⑥ 介護予防プラス出前講座（7回） ⑦ はじめてのZOOM体験講座 ※1 講座の一部は、都「東京みんなでサロン」モデル事業を活用し、都営住宅集会所での「10の筋トレ」グループ立ち上げを行う。また、オンライン体験講座も予定。 | | （予定） ① 10の筋トレ体験講座（10.12.1.2月） ② グループへのリハ職派遣（随時） ③ 地区筋トレ+はじめてのZOOM体験講座 ^{※2} （10月）4回 ④ オンライン10の筋トレ（週1回） ⑤ 10の筋トレ合同大会中止 ⑥ 介護予防プラス出前講座（10回） ⑦ 介護予防推進連絡会（3月） ※2 一部の地区は、都「オンラインツールを活用した介護予防・フレイル予防活動支援事業」を活用し、通いの場参加者対象の「はじめてのZOOM体験講座」などを行い、オンライン10の筋トレ参加者増や高齢者のデジタルリテラシー向上を目指す。 | | |
| （進捗） 概ね予定通り ① 体験講座3回実施（1回中止）、説明会5回実施 ② グループへのリハ職派遣15回 ③ 地区筋トレ2回（2回中止） ④ オンライン10の筋トレ27回 ⑥ 介護予防プラス出前講座5回 ⑦ 初めてのZOOM体験講座 1回 （課題と対応方針） ○緊急事態宣言中は、ほとんどのグループが活動を | | （進捗） 1月からの感染急拡大で①②⑥縮小、⑦中止とした。 ① 体験講座3回実施（3回中止）、説明会2回実施 ② グループへのリハ職派遣40回 ③ 地区筋トレ+はじめてのZOOM体験講座4回実施 ④ オンライン10の筋トレ24回 ⑥ 介護予防プラス出前講座7回 ⑦ 介護予防推進連絡会（3月）中止 （課題と対応方針） | | |

| | |
|--|---|
| <p>中止したが、上半期新たに3グループが立ち上がった。また、都営住宅に加え、公社住宅の集会所活用に向けて JKK スマイルアシスタントと連携し、準備を進めた。</p> <p>都「オンラインツールを活用した介護予防・フレイル予防活動支援事業」の準備を行い、「初めての ZOOM 体験講座」を実施し、新たにオンライン 10 の筋トレに参加する方が増えた。</p> <p>○介護予防プラス出前講座は、腰痛予防、膝痛予防の依頼が多かった。</p> | <p>○下半期は、新たに8グループが立ち上がった。本年度は20グループを立ち上げる計画であったが、コロナ禍の影響も大きく、11グループとなった。新たなグループが立ち上がった経緯は、東京都住宅供給公社 (JKK) や都住宅部門との連携、AIP 広報誌「住ま居る」への掲載、第2層協議体や老人クラブなど。引き続き、機会をとらえて事業の周知に努めていく。</p> <p>また今後は、東京都介護予防・フレイル予防推進支援センターとの連携を強化し、①多様な専門職の関与に向けた研修、②事業の PDCA チェックなどを新たに実施する。</p> <p>オンラインツールの活用については、「初めての ZOOM 体験講座」実施し 35 名が参加。その結果「オンライン 10 の筋トレ」は実施前 20 人 (1 回あたりの平均参加者) が、現在は 30 名を超えている。次年度も、引き続き都補助金を活用した事業を継続し、高齢者の IT リテラシーの向上を目指す。</p> |
| <p>担当</p> | <p>課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：介護普及係</p> |

1-4 生活支援体制整備事業

| | | | | |
|--|-----------------------------|--|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活を継続していくために、地域の住民が主体となって、生活支援や介護予防活動の充実強化を図るとともに、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを進め、各地域の特性を活かした支え合いの仕組みづくりを推進します。</p> <p>現在、18 地域全ての日常生活圏域で、その地域の多様な主体をメンバーとした第2層協議体が立ち上がり、月に1回程度会議を開催し地域の様々な情報を共有し、メンバーで話し合いながら、その地域ならではの助け合い・支え合いの地域づくりに取り組んでいます。</p> <p>今後は、18 地域全ての日常生活圏域に生活支援コーディネーター（SC）の選出（配置）を完了させ、各地域の特性を活かした支え合いにおけるさらなる活動幅の拡大・事業認知度の向上に向けて引き続き検討・支援を行います。また、具体的な支え合い活動を創出するとともに、新たな担い手の発掘に向け、地域の専門職や社会福祉法人、商店、民間企業等との連携についても検討を行ってまいります。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | SC配置地域数 | 16か所 | 18か所 | 18か所 |
| | 活動指標 | 板橋区社会福祉協議会と緊密な連携を図りながら、各地域における企画・活動発信、外部団体（民間企業や他の地域団体等）との交流等への支援を継続して行う。 | | |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：- (介護特会)：80,000千円 | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| <p>(予定)</p> <p>第1層（区全域）協議体（兼 第2層研修会）</p> <p>第2層各協議体及びSC会議</p> <p>第2層オンライン交流会</p> <p>第2層ブロック連絡会</p> <p>第2層SC連絡会</p> <p>第2層SC選出支援</p> | | <p>(予定)</p> <p>第1層協議体</p> <p>第2層各協議体及びSC会議</p> <p>第2層選出支援</p> | | |
| <p>(進捗)</p> <p><第1層></p> <p>協議体：1回開催</p> <p><第2層></p> <p>協議体及びSC会議：各地域概ね月に1回程度開催</p> <p>オンライン交流会：1回開催</p> <p>ブロック連絡会：1回開催</p> <p>SC連絡会：2回開催</p> <p>研修会：3回開催</p> <p>SC選出支援：継続して支援を実施</p> <p>(課題と対応方針)</p> <p>緊急事態宣言期間中は対面での会議が実施できな</p> | | <p>(進捗)</p> <p><第1層> ※見込み含む</p> <p>協議体：1回開催</p> <p><第2層> ※見込み含む</p> <p>協議体及びSC会議：各地域感染状況を見ながら不定期に開催</p> <p>SC連絡会：2回開催</p> <p>SC選出支援：継続して支援を実施</p> <p>(課題と対応方針)</p> <p>新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置期間が長期化したことから、各地域の第2層協議体は不定期開催となった。SCの選出についても、この影響</p> | | |

| | |
|--|---|
| <p>かったことによりSC選出に向けての機運の醸成がされにくい状況であったが、オンライン等を用いて研修や会議を行う等の工夫を行い活動継続並びに構成員の意欲の維持・向上に繋げてきた。</p> <p>2021年10月からは対面での会議が再開されてきたためSC選出については引き続き機運醸成に向けて支援を行う。</p> <p>また、専門職との連携による勉強会や支え合い活動の創出に向けた動きをする地域も出てきており、事業における活動幅の拡大につながる取組が広がってきている。</p> | <p>により、上半期から引き続き機運の醸成が難しい状況であったが、各地域の活動は止めることなく緩やかに継続することができた。来年度初めには5地域合同で実施するイベントのほか、各地域でも地域住民向けのイベントの開催を予定している。</p> <p>SC選出支援は継続して行いつつ、協議体の活動面では、地域活動の創出や専門職との連携に加えて、地域住民との交流を通じた担い手の確保や地域活動団体との更なる連携を目指す。</p> |
| <p>担当</p> | <p>課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：地域ケア推進係</p> |

2 医療介護連携

| 2-1 療養相談室 | | | | |
|--------------|--|---|--|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | 在宅療養に関する相談を受け付け、医療機関と介護関係者との連絡調整や患者・家族の要望を踏まえた医療・介護資源の紹介を行います。 | | |
| | | そのほか病院や施設での研修や講義等を通して、看取り支援を含めて在宅医療の対応力・質の向上を図っています。また、相談対応力向上のため、関係機関へのアウトリーチを通して、顔の見える関係を構築、医療資源等を集約し、相談実績を基にした在宅療養に関する需要と供給を把握します。 | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 相談件数 | 年間400件以上の相談件数を目標にする | | |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：18,463千円 (介護特会)：10,567千円 | | | |
| | 上半期 | | 下半期 | |
| (予定) 通年 | <p>・広報や区ホームページ等に掲載し、区民や医療機関をはじめとする関係機関に広く周知するとともに、在宅医療に関する相談を受け付ける。</p> <p>・在宅医療に係る会議への参加や情報交換、日々の相談事例の積み重ねにより関係機関との連携を深めるとともに、在宅医療の資源情報を集約する。それにより質の高い相談支援を提供する。</p> | | (予定) | |
| (進捗) | <p>広報いたばし8月21日号への記事掲載、高島平の「ここからステーション」に出向き相談対応やイベントに参加するなどの周知も実施している。9月までの相談件数は336件であり相談件数の目標は達成できる見込みである。</p> <p>(課題と対応方針) 各種研修・会議等の情報交換の場の多くがWEB開催となっているため、関係性の構築において今までは別の方法も検討中である。</p> | | <p>1月に板橋区在宅医療推進協議会へ参加し、今年度実績を報告するとともに、困難事例を紹介し意見交換の材料とした。</p> <p>2月までの相談件数は639件であり、相談件数の目標は達成した。</p> <p>地域、在宅をテーマとする研修や会に積極的に参加し、顔の見える関係の構築に努めた。</p> <p>(課題と対応方針) 定期的なブログのアップ、次年度からの「ハートページ」掲載のための調整等を実施した。困り切ったからの相談が多く、「ちょっと聞きたい」を可能にすることで、口コミによる周知も図りたい。</p> | |
| 担当 | 課、所名：健康推進課 係 名：健康づくり係 | | | |

2-2 医療・介護連携情報共有システムの検討

| | | | | |
|--------------|---|--|---|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | 区内では板橋区医師会が中心となってシステムを活用していますが、区内の病院、介護事業所などでは、独自にシステムを導入している所もあり、異なるシステム同士の連携が課題となっていました。東京都は令和2（2020）年から「東京都多職種連携ポータルサイト」を開設し、円滑なシステムの連携を進めています。区は「東京都多職種連携ポータルサイト」の利用普及・利用効果等について関係機関と協力しながら効果的な運用の支援を検討し、実施していきます。 | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | システム運用 | 運用方法の検討・決定 | 運用準備・試行 | 運用開始 |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：- (介護特会)：- | | | |
| | 上半期 | 下半期 | | |
| (予定) | 「東京都多職種連携ポータルサイト」を含む医療・介護連携情報共有システムの利用に関するガイドライン案を作成し、関係機関の意見聴取を行う。 | (予定) | 関係機関からの意見聴取内容を元に、板橋区多職種連携システム利用に関するガイドライン（仮称）を公表する。 | |
| (進捗) | ガイドラインの素案を作成したが、医師会をはじめとする関係機関が新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種業務に従事するなど多忙であったため、意見徴取を延期した。 | (進捗) | 在宅療養相談室等から、東京都多職種連携ポータルサイトの利用状況などについて個別にヒアリングすることはできたが、医師会等の団体としては新型コロナウイルス感染症再拡大の影響もあり意見徴取の実施には至らなかった。 | |
| (課題と対応方針) | 関係機関と調整を図り意見徴取を実施する。 | (課題と対応方針) | 次回のネットワーク懇話会など多職種が参加する機会をとらえて意見聴取を進め、その内容についても検討していく。 | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：地域ケア推進係 | | | |

2-3 多職種による会議・研修（ア 板橋区在宅療養ネットワーク懇話会）

| | | | | |
|---|--|--|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>医療と介護では、それぞれの保険制度が異なることなどにより、多職種間の相互の理解や、情報共有が十分にできていないなどの課題があります。このため、多職種が連携するための会議、グループワークなどの研修を通じて、地域の多職種がお互いの現状、役割、それぞれが抱える課題などの共有・意見交換を行うことで円滑な連携ネットワークづくりの支援を行います。</p> <p>今後は、会議・研修等はリモート形式による開催も検討し、実施します。</p> <p>ア 板橋区在宅療養ネットワーク懇話会</p> <p>地域の医療・介護関係者が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行います。</p> <p>また、地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワークなどの研修等を行い地域のネットワークの構築を図ります。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | ア 開催回数 | 2回 | 2回 | 2回 |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：- (介護特会)：- | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| (予定) ア 新型コロナウイルスワクチン接種に伴う関係機関の業務量により、会議開催や書面会議等の方法の決定 | (予定) ア 上半期の検討結果に基づき会議等の開催 | | | |
| (進捗) 各団体の世話人による、在宅療養ネットワーク懇話会世話人会を10月オンライン開催すべく、共同事務局である板橋区医師会と調整を図った。 | (進捗) 2月にオンラインによる在宅療養ネットワーク懇話会の本会を開催し、「スマートウェルネス住宅」、「ICTを用いた在宅療養」、「多職種連携によるフレイル予防」について、学識経験者・専門職による講演や多職種間の現状報告等を実施し、情報共有を行った。 | | | |
| (課題と対応方針) 在宅療養ネットワーク懇話会世話人会で、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、本会の議題や開催方法について決定する。 | (課題と対応方針) オンラインによる開催が初めてということもあり、対面開催で実施していたグループワークまでは実施することはできなかった。今後、オンラインで開催する際には、グループワークの開催についても視野に入れて検討していく。 | | | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：地域ケア推進係 | | | |

2-3 多職種による会議・研修（イ 板橋区在宅医療推進協議会）

| | | | | |
|--------------|--|---|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | イ 板橋区在宅医療推進協議会 医療・介護・福祉関係者が集まり、療養相談室・在宅患者急変時後方支援病床の実績報告等を行い、多職種間における意見交換を通じて在宅療養の推進に向け連携を図っています。 | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | イ 開催回数 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：109千円 （介護特会）：- | | | |
| | 上半期 | 下半期 | | |
| | （予定） | （予定） イ 1月 板橋区在宅医療推進協議会 | | |
| | （進捗） 療養相談室での相談件数、内容や在宅患者急変時後方支援病床確保事業の実績を集計し、動向などを分析している。 （課題と対応方針） 在宅医療について、コロナ禍で相談の内容に変化が見られるが、療養相談室を中心に関係医療機関や介護事業者との連携を図っている。 | （進捗） 1月にweb開催。療養相談室での相談件数、内容や在宅患者急変時後方支援病床確保事業の実績の報告に加え、療養相談室の困難事例について意見交換を行った。 （課題と対応方針） コロナ禍で会議時間の短縮を図るため、できるだけ意見交換に多くの時間を費やした影響で、実績の報告等が例年より時間が短くなった。 | | |
| 担当 | 課、所名：健康推進課 係 名：健康づくり係 | | | |

2-3 多職種による会議・研修（ウ 会議体の再編を中心とした連携体制の強化（地域ケア会議の充実））

| | | | | |
|--------------|---|--|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>ウ 会議体の再編を中心とした連携体制の強化（地域ケア会議の充実）</p> <p>○前計画において地域ケア会議として位置づけている複数の会議及びその他の既存の会議を整理し、地域ケア推進会議（仮称）、地域ケア個別会議（仮称）としての位置づけを明確にします。</p> <p>○地域ケア推進会議において、医療・介護連携に係る課題の個別事例及び地域課題について、医療職・介護職・区職員等の多職種が専門的に検討するとともに第1層・第2層協議体と連携することで、地域課題の把握・資源開発に結び付け、多職種が連携し、高齢者のケアを高める機能を強化します。</p> | | |
| | | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| | ウ 地域課題の抽出数及び検討数 | 新たな体制での会議稼働により、地域課題を抽出し、体系的に区全体で検討します。 | | |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：- （介護特会）：- | | | |
| | 上半期 | 下半期 | | |
| | （予定） 地域課題を抽出 各おとしより相談センターにて地区ネットワーク会議（地域ケア推進会議）開催 | （予定） 地域課題の検討（政策調整会議） 各おとしより相談センターにて地区ネットワーク会議（地域ケア推進会議）開催 | | |
| | （進捗） ・令和2年度の地区ネットワーク会議等から把握した地域課題を抽出し、区レベルの地域ケア推進会議（政策調整会議）にて検討の方向性を決定した。 ・各おとしより相談センターにおいて、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、下半期における地区ネットワーク会議開催に向け準備を行った。 | （進捗） ・上半期に検討の方向性を決定した地域課題について、各担当部署への共有、区の取り組み状況を調査し推進を行った。 ・3月31日までに全地区での地区ネットワーク会議が実施される。 | | |
| | （課題と対応方針） 各おとしより相談センターにおいて、地区ネットワーク会議開催に際し、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、議題・開催方法について決定する。 | （課題と対応方針） 新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、開催方法を変更した会議もあった。さらに効果的な会議運営について検討を行う。 | | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：管理係 | | | |

3 認知症施策

3-1 認知症初期集中支援事業

| | | | | |
|---|-----------------|--|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>認知症と疑われる症状が見られる高齢者に対し、早期に初期の集中的な介入を行うことによって認知症の悪化を防止し、地域における医療・介護の様々なサービス提供資源を活用しながら、可能な限り在宅生活を継続できるような支援体制を構築します。</p> <p>認知症初期集中支援チームを各地域包括支援センター（おとしより相談センター）に配置し、チーム員は地域の認知症サポート医と地域包括支援センター（おとしより相談センター）職員（看護職・福祉の専門職）の多職種で構成されています。チーム員会議において、対象事例についてのアセスメントを行い、チームの介入方法や、チーム員の役割を検討し、初期介入や、医療・介護サービスの導入を進め、必要に応じてチームでの訪問を行います。医療・介護サービス等の導入や今後の支援方針が確立し、それぞれの担当者に引継ぎができた時点でチームとしての活動を終了とします。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 認知症初期集中支援チーム員会議 | 114回 | 114回 | 114回 |
| | 支援対象者数 | 76人 | 77人 | 78人 |
| | 医療/介護への引継 | 100% | 100% | 100% |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 | (一般会計)：- | | | |
| 単位：千円 | (介護特会)：3359千円 | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| (予定) | | (予定) | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・19 チームの活動を継続 チーム員会議 (1回/2か月) ・6月 板橋区医師会医師のサポート医研修受講 (1名) ・6月 認知症地域支援推進員研修 ・7月 認知症初期集中支援チーム員研修 ・通年 認知症疾患医療センターとの連携会議 (1回/2か月) ・通年 認知症疾患医療センタースタッフのチーム員会議への参加調整 | | <ul style="list-style-type: none"> ・12月 認知症初期集中支援事業検討委員会 医師部会 ・2月 認知症初期集中支援事業検討委員会 本会 ＊認知症初期集中支援事業活動報告書作成 | | |
| (進捗) | | (進捗) | | |
| <p>おおむね計画通りに実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポート医研修1名受講 ・研修はオンラインで実施 ・チーム員会議はコロナ感染拡大状況等に応じて、対面とオンラインにより実施。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・19 チームの活動、検討委員会は計画通りに実施 ・認知症初期集中支援事業活動報告書は順調に作成作業が進んでおり、年度内に完成の予定。 ・4月～12月末までの支援実績 支援者実数4月～12月78名 | | |

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症疾患医療センタースタッフのチーム員会議への参加7回 アウトリーチ事業利用1回 連携会議3回実施 ・ 支援者実数4月～10月68名 ・ 認知症サポート医との連携良好 <p>(課題と対応方針)</p> <p>今年度は認知症が重症化してからの事例把握が増え、見守りの機会が減ったことによる影響を感じる。</p> <p>昨年度は対面支援を希望しない方がいたが、今年度は感染対策を行いながら支援できている。しかし、問題が複雑化し医療や支援へのつなぎの困難さがあり、支援チームと特別援護係や関係機関と連携した支援が重要となっている。</p> <p>今後も多職種で連携した支援ができるよう、各チーム活動状況を共有しチームの活動を支援していく。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症疾患医療センタースタッフのチーム員会議への参加9回 アウトリーチ事業利用2回 連携会議5回実施 <p>(課題と対応方針)</p> <p>認知症サポート医、チーム員との連携がよく、コロナ禍でも認知症サポート医同行訪問数、支援者実数が増えている。困難事例は認知症疾患医療センターにも相談ができ、適切な支援につながっている。</p> <p>事業から把握した地域課題に対する取り組みにもつながり、支援体制が強化された。これらの取り組みをまとめた報告書を作成し、活用することにより、チーム活動の普及、関係機関との連携や地域支援力向上につなげていく。</p> |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：認知症施策推進係 |

3-2 認知症サポーター活動支援（ア 認知症サポーター、キャラバン・メイト対象のスキルアップ講座や交流会）

| | | | | |
|---|--|--|-------|-------|
| 計 画 記 載 内 容 | 事業概要 | <p>認知症の人や家族の一人ひとりが尊重され自分らしく安心して暮らし続けられるよう、認知症の人も介護家族も生き生きと暮らし活躍できる地域共生社会をめざし、認知症の正しい知識の普及啓発、認知症の人や介護家族のパートナーとして活動する認知症サポーターの育成、認知症の人や介護家族のニーズに合った支援につなげる仕組みを地域ごとに構築します。</p> <p>また、令和7（2025）年までに（仮称）チームオレンジの開始をめざし、コーディネーターの育成、認知症キャラバン・メイトや認知症サポーターを中心としたチームづくり、活動拠点づくり等を検討します。</p> <p>ア 認知症サポーター、キャラバン・メイト対象のスキルアップ講座や交流会 認知症サポーターの中級講座及び交流会、キャラバン・メイト連絡会を開催し、スキルアップと活動の情報共有等により活動を支援します。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | ①認知症サポーター 中級講座 | 1回 | 1回 | 1回 |
| | ②キャラバン・メイト 連絡会 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：- （介護特会）：1,785千円（ア+イ合算額） | | | |
| | 上半期 | 下半期 | | |
| （予定） | | （予定） ①認知症サポーター 中級講座 2月 ②キャラバンメイト養成講座 11月 キャラバンメイト連絡会 1月 | | |
| （進捗） 認知症サポーター中級講座を「認知症フレンドリー講座」と名称を改定。受講対象者も認知症サポーターに限定せず、キャラバンメイトや高齢者見守り地域づくり協定企業、認知症地域支援推進員等とし、認知症があってもなくても当たり前前の暮らしができる認知症フレンドリー社会につながるアクションを起こすきっかけづくりにする講座とした。 （課題と対応方針） 「認知症フレンドリー」の普及啓発や理念の共有を必要があるため、講座案内のチラシや講座において説明を行う。 | （進捗） ① 認知症フレンドリー講座実施（ハイブリット型） 10/19 講演 先進自治体の活動 御坊市職員 10/26 区内で広がっている取り組みの紹介 アクションミーティング 1/17 キャラバンメイト連絡会と合同 とうきょう認知症希望大使（2名）の話 アクションミーティング ② キャラバンメイト養成講座 12/7 実施 26名養成 （課題と対応方針） 目指す共生社会の姿を「認知症フレンドリー社会」とし、先進自治体や区内団体の取り組みの共有、認知症の人の生活や活動、希望を聴いて、認知症フレンドリー社会につながるアクションを話し合った。 包括が認知症サポーターやキャラバンメイトを誘って一緒に参加する姿もあった。本人ミーティングや居場所づくり等、各地域での取り組みつながっている。 | | | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：認知症施策推進係 | | | |

3-2 認知症サポーター活動支援（イ 認知症サポーターのひろば）

| | | | | |
|---|------------------------------------|---|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>イ 認知症サポーターのひろば</p> <p>認知症サポーターが地域でできることを自ら考え、取り組んでいくことができるよう、認知症サポーターが定期的に集まる会を実施します。取組の一つとして、認知症村芝居の公演や認知症カルタ作成をもとに認知症への正しい理解の普及啓発を推進する活動を行います。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | ③認知症サポーターのひろば | 12回 | 12回 | 12回 |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：- (介護特会)：1,785千円（ア+イ合算額） | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| <p>(予定)</p> <p>認知症サポーターのひろば</p> <p>① 4～9月 定例会（1回/月） 認知症村芝居の稽古・認知症かるた作成継続</p> <p>② 5月～ 認知症かるた 絵札作成開始 (赤塚第二中学校と合同)</p> <p>③ 6月・9月 認知症サポーター養成講座 認知症村芝居公演</p> | | <p>(予定)</p> <p>認知症サポーターのひろば</p> <p>・10～3月 定例会（1回/月） 認知症村芝居の稽古・認知症かるた作成継続</p> <p>・12月 認知症サポーター養成講座 認知症村芝居公演</p> <p>・2月 認知症かるた 完成・配布</p> | | |
| <p>(進捗)</p> <p>〈認知症サポーターのひろば〉</p> <p>①～③おおむね計画通りに開催</p> <p>9月の認知症サポーター養成講座はコロナ第5波の影響で村芝居公演は中止。以前に撮影した映像を上映した。9月のアルツハイマーデー月間ではイベントの1つとして中央図書館で村芝居の映像を常時上映した。</p> <p>〈認知症かるた〉</p> <p>作成作業は順調に進んでいる。赤塚第二中学校生徒の協力も得て、絵札も完成した。</p> <p>(課題と対応方針)</p> <p>認知症かるたの作成が順調に進み、完成後の普及啓発についてと今後の認知症サポーターのひろばの活動について、話し合われるようになってきている。</p> | | <p>(進捗)</p> <p>・認知症サポーターのひろばは計画通り開催</p> <p>・認知症サポーター養成講座 認知症村芝居公演 12月実施 2月は中止</p> <p>・かるたの作成は計画通り完成。3月中に配布予定。貸し出し事業は、R4年5月開始予定</p> <p>(課題と対応方針)</p> <p>・板橋区完全オリジナルのかるたが完成した。今後は、認知症サポーターやキャラバンメイト、関係機関と連携し、全世代、様々な対象に広く普及させていく。</p> | | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：認知症施策推進係 | | | |

4 住まいと住まい方

| 4-1 高齢者見守り調査事業 | | | | |
|--|-----------------------------------|--|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>毎年、民生委員・児童委員が区内の75歳以上※高齢者宅を訪問して、支援が必要な方を、地域包括支援センター（おとしより相談センター）や区の適切な高齢福祉サービスにつないでいます。都市部では全国的にも類を見ない個別訪問であり、区の民生委員・児童委員の活動、地域福祉の源泉になっているといえます。</p> <p>※令和3年度は経過措置で74歳以上を訪問します。令和4年度からは75歳以上の高齢者を対象とします。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 見守り調査の調査率 | 調査率80%以上を維持する | | |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：4,045千円 （介護特会）：- | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| （予定） 6月～9月末 高齢者見守り調査の実施 | | （予定） 11月 高齢者見守り調査名簿の回収 12月～ 集計作業開始 | | |
| （進捗） 6月～11月 高齢者見守り調査の実施 （課題と対応方針） ・新型コロナウイルス感染症の感染状況等を考慮し、次年度調査の実施時期や方法を検討している。 | | （進捗） 11月 高齢者見守り調査名簿の回収 12月～2月 集計作業 （課題と対応方針） ・地域包括支援センターと情報を共有するため、集計方法を変更したが、集計作業に時間がかかってしまった。次年度以降は、集計時間が短縮できるよう、検討していく。 | | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：地域ケア推進係 | | | |

4-2 ひとりぐらし高齢者見守り対象者名簿事業

| | | | | |
|--------------|--|---|-------------|-------------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | 70歳以上でひとり暮らし高齢者を対象として、ひとりぐらし高齢者見守り対象者名簿を作成します。本名簿は警察、消防、民生委員・児童委員や区関係機関に配付し、情報を共有することで、緊急時に、関係機関が名簿を活用し、本人の安否確認や緊急連絡先への連絡を行います。 | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 新規登録者（累計） | 200人（5,539） | 200人（5,739） | 200人（5,939） |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：634千円 (介護特会)：- | | | |
| | 上半期 | 下半期 | | |
| | (予定) 6月～9月末 熱中症の注意喚起を実施 | (予定) 12月 情報誌「みまもりネット」の発送 2月～3月 ひとりぐらし高齢者見守り連絡会議の開催 | | |
| | (進捗) 6月～9月末 熱中症の注意喚起を実施 (課題と対応方針) ・新型コロナウイルス感染症の感染状況等を考慮し、高齢者見守り調査と同時に行うか検討している。 | (進捗) 12月 情報誌「みまもりネット」の発送 2月～3月 ひとりぐらし高齢者見守り連絡会議の書面開催 (課題と対応方針) ・ひとりぐらし高齢者見守り対象者名簿の登録者が減少傾向にあるので、登録者が増加するように周知方法を検討していく。 | | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：地域ケア推進係 | | | |

4-3 見守り地域づくり協定

| | | | | |
|--|-----------------------------------|---|--|-----------------------------------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>区と民間事業者の間で協力体制を確立し、連携して見守り等の活動を行うことを目的として、以下のような取組に関する協定の締結をめざしていきます。</p> <p>(1) 高齢者等に対する「緩やかな見守り」の実施 (2) 認知症の人やその家族を支える地域づくりへの協力 (3) 高齢者等の消費者被害の防止 (4) 各地域における第2層協議体(支え合い会議)への協力 (5) その他の地域活動支援など</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 活動指標 | 協定の締結 | 協定に基づく見守り・地域づくりの実施 協定内容の検討(更新) | 協定に基づく見守り・地域づくりの実施 協定内容の検討(更新) |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：- (介護特会)：- | | | |
| 上半期 | | | 下半期 | |
| (予定) 8月～12月 セブンイレブン等との協定の締結 専用ホームページの整備 | | | (予定) 1月～3月 東京ヤクルト販売株式会社、エイジライフ株式会社 パナソニックエイジフリーショップ城北との協定の締結 | |
| (進捗) ・現在、第一生命と生活クラブの2社との協定締結を完了している。協定専用のページを作成し、区公式ホームページに公開済。 (課題と対応方針) ・東京ヤクルト販売株式会社を含めた数社から協定を結びたいという旨の提案がきており、今年度中に締結できるように検討している。 | | | (進捗) ・3月末に東京ヤクルト販売会社、エイジライフ株式会社パナソニックエイジフリーショップ城北との協定を締結する予定である。 (課題と対応方針) ・上記の2社以外にも、既に数社から協定を結びたい旨の提案を受けているため、次年度に締結できるように検討していく。 | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：地域ケア推進係 | | | |

5 基盤整備

| 5-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | | | | |
|--|-------------------------------|---|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、介護と医療の一体的なケアや定期的な巡回などが必要な方の在宅生活を 24 時間体制で支える重要なサービスです。 区内全域をカバーしたサービス提供ができるよう、事業者が参入しやすい環境整備を継続するとともに、サービス内容の理解を深める普及啓発を図っていきます。 | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 計画数（累計数） | 1（6） | 1（7） | 1（8） |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：19,940 千円 （介護特会）：- | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| （予定） 新規事業所 1 か所開設に向けて、随時整備・運営事業者を募集するとともに、施設整備に係る相談を受け付ける。 | | （予定） ・令和3年度中に1か所新規開設 ・1月～3月 整備・運営事業者に対して、整備費及び開設準備経費に係る助成手続きを行う。 | | |
| （進捗） 事業者からの相談が月に数回の頻度であったので、それに対応して情報を提供した。 （課題と対応方針） 設置に前向きな事業者もあったが、具体化に至らず年度内の開設実現は困難となった。来年度以降の開設に向けて、引き続き対応していく。 | | （進捗） 上半期同様、事業者からの相談が月に数回の頻度であったので、都度、情報を提供した。 （課題と対応方針） 年度内の開設には至らなかったが、来年度に開設を予定する事業者が一つあった。来年度以降の開設につながるよう、事業者からの問合せに対応していく。 | | |
| 担当 | 課、所名：介護保険課 係 名：施設整備・事業者指定係 | | | |

5-2 小規模多機能型居宅介護

| | | | | |
|--|-------------------------------|---|-------|-------|
| 計 画 記 載 内 容 | 事業概要 | <p>小規模多機能型居宅介護は、利用者の状態に応じて、同じスタッフによる訪問・通所・宿泊サービスを組み合わせたサービスにより、単身高齢者や認知症高齢者などの在宅生活を支えています。</p> <p>住まいの近くにある身近な施設からサービスが受けられるよう、令和7（2025）年までに18か所の整備を目標に、圏域ごとの需要や実情等を考慮したうえで整備を推進します。</p> <p>なお、計画数には、第7期計画事業の繰り越し分と栄町の板橋キャンパスにおける都有地活用事業による整備数が含まれます。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 計画数（累計数） | 1（12） | 1（13） | 1（14） |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：48,209千円 （介護特会）：- | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| （予定） 令和3年度及び令和4年度開設予定の案件について整備状況の進捗管理を行う。 | | （予定） ・令和3年度中に1か所新規開設 ・1月～3月 整備・運営事業者に対して、整備費及び開設準備経費に係る助成手続きを行う。 | | |
| （進捗） 令和3年度開設を予定していた施設が、建設工事の入札不調による着工遅延により、開設が翌年度に持越しとなった。 令和4年度開設予定分については、現在のところ開設の見込となっている。 ※両施設とも、認知症高齢者グループホームとの併設施設。 | | （進捗） 令和4年度開設予定となっている認知症高齢者グループホームとの併設施設は、建設工事が進行しており、来年度中に開設の見込である。 | | |
| （課題と対応方針） 来年度に2施設開設の見通しとなった。引き続き進捗管理を行っていく。 | | （課題と対応方針） 認知症高齢者グループホームとの併設施設については、4月以降、令和5年度の開設に向け、事業者を公募し、計画的な整備を進めていく。 | | |
| 担当 | 課、所名：介護保険課 係 名：施設整備・事業者指定係 | | | |

5-3 看護小規模多機能型居宅介護

| | | | | |
|--------------|---|--|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>看護小規模多機能型居宅介護は、小規模多機能型居宅介護に訪問看護が加わった、医療ニーズがある方の在宅生活を支えるためのサービスです。</p> <p>看護職員や介護職員の確保に加え、事業の採算性や運営ノウハウの構築が困難なことなどから整備が進んでいません。</p> <p>運営実績がある事業者等からのヒアリングを参考に、事業者が参入しやすい環境について検討し、整備を推進します。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 計画数（累計数） | 1（2） | 1（3） | 1（4） |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：41,151 千円 （介護特会）：- | | | |
| | 上半期 | 下半期 | | |
| | <p>（予定） 新規事業所1か所開設に向けて、随時整備・運営事業者を募集するとともに、施設整備に係る相談を受け付ける。</p> | <p>（予定） ・令和3年度中に1か所新規開設 ・1月～3月 整備・運営事業者に対して、整備費及び開設準備経費に係る助成手続きを行う。</p> | | |
| | <p>（進捗） 事業者から複数回相談があり対応したが、今年度の新規開設には至らなかった。ただし、来年度以降の開設相談も受けている状況である。</p> | <p>（進捗） 上半期に引き続き、事業者から複数回相談があり都度、情報を提供したが、今年度の新規開設には至らなかった。</p> | | |
| | <p>（課題と対応方針） 来年度以降の開設に向けて、引き続き事業者の相談に対応していく。</p> | <p>（課題と対応方針） 認知症高齢者グループホームとの併設施設については、4月以降、令和5年度開設に向け、事業者を公募し計画的な整備を進めていく。 単独の場合は、随時の開設に向け、事業者からの相談に対応していく。</p> | | |
| 担当 | 課、所名：介護保険課 係 名：施設整備・事業者指定係 | | | |

5-4 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）

| | | | | |
|----------------------------|---|--|-------|-------|
| 計 画 記 載 内 容 | 事業概要 | <p>認知症対応型共同生活介護は、認知症高齢者の増加に伴い、自宅での生活が困難な方の生活の場として、今後も整備が必要です。</p> <p>介護職員の確保が困難な状況から、事業者の公募に際しては、サービスの質に加え、職員の負担軽減を図る取組などに積極的に取り組む事業者の事業計画を支援します。また、整備圏域に偏在があるため、圏域間のバランスに配慮した整備を推進します。</p> <p>なお、計画数には、第7期計画事業の繰り越し分と栄町の板橋キャンパスにおける所有地活用事業による整備数が含まれます。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 計画数（累計数） | 1（28） | 1（29） | 1（30） |
| | 令和3年度 | | | |
| 予算額 単位：千円 | （一般会計）：166,989千円 （介護特会）：- | | | |
| | 上半期 | 下半期 | | |
| | （予定） 令和3年度及び令和4年度開設予定の案件について整備状況の進捗管理を行う。 | （予定） ・令和3年度中に1か所新規開設 ・1月～3月 整備・運営事業者に対して、整備費及び開設準備経費に係る助成手続きを行う。 | | |
| | （進捗） 令和3年度開設を予定していた施設が、建設工事の入札不調による着工遅延により、開設が翌年度に持越しとなった。 令和4年度開設予定分については、現在のところ開設の見込となっている。 ※両施設とも小規模多機能型居宅介護との併設施設。 （課題と対応方針） 来年度に2施設開設の見通しとなった。引き続き進捗管理を行っていく。 | （進捗） 令和4年度開設予定となっている小規模多機能型居宅介護との併設施設は、建設工事が進行しており、来年度中に開設の見込である。 （課題と対応方針） 4月以降、令和5年度開設に向けた事業者を公募し、計画的な整備を進めていく。 | | |
| 担当 | 課、所名：介護保険課 係 名：施設整備・事業者指定係 | | | |

6 シニア活動支援

シニア世代活動支援プロジェクトの推進（シニア世代の社会参加・活動支援）

計
画
記
載
内
容

事業概要

シニア世代活動支援プロジェクトでは、リーディング事業である「フレイル予防事業」をはじめ、「意識啓発・情報提供」と「ガイダンス・トライアル事業」に主眼を置いた事業を展開し、シニア世代の主体的な健康維持・増進と生きがいづくりにつながる社会活動への参加を促進しています。

- フレイル予防事業
 - (1) フレイルサポーター養成講座
 - (2) フレイルチェック測定会
- 意識啓発と情報提供
 - (1) 大人の活動ガイド「ステップ」のPR
 - (2) 「社会参画・社会貢献ニュース」発行
 - (3) プロジェクト推進講演会開催
 - (4) 福祉施設ボランティア推進事業
- ガイダンス・トライアル事業
 - (1) 就労支援セミナー
 - (2) コミュニティビジネス推進事業
 - (3) 絵本読み聞かせ講座
 - (4) 地域活動入門講座

上記事業のほか、シニア世代が就労を通じて地域社会で活躍できる機会の創出のため、プロジェクトで設置している「就労支援等連絡協議会」を活用して区・アクティブシニア就業支援センター（社会福祉協議会）・シルバー人材センター三者の連携を強化し、多様化するシニア世代の就業ニーズに応えられる仕組みづくりを協議・検討しています。

コロナ禍での各事業の実施においては、感染防止対策を徹底するとともに、オンライン開催が可能なものは積極的に採り入れます。

また、濃厚接触を伴うフレイル予防事業は、関係各機関の協力のもと、自宅のできるフレイル予防に資する取組を検討・実施します。

| 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------------|---------------------------|-------|---|
| フレイルサポーター養成講座 | 20人 | 20人 | 20人 |
| フレイルチェック測定会実施圏域 | 8圏域 | 12圏域 | 16圏域 |
| フレイルチェック測定会参加者数 | 延320人 | 延480人 | 延640人 |
| 意識啓発と情報提供 | 継続実施 ※大人の活動ガイド「ステップ」改版 | 継続実施 | 継続実施 ※高齢者ニーズ調査を実施（3年ごと） ※大人の活動ガイド「ステップ」改版 |
| ガイダンス・トライアル事業 | 継続実施 | 継続実施 | 継続実施 |

| 令和3年度 | |
|---|---|
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：13,316 千円 (介護特会)：- |
| 上半期 | 下半期 |
| <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フレイル予防事業…フレイルサポーター養成講座、フレイルチェック測定会 ■意識啓発・情報提供…「社会参画・社会貢献ニュース」発行、福祉施設ボランティア推進事業 ■ガイダンス・トライアル…絵本読み聞かせ講座、コミュニティビジネス推進事業、就労支援セミナー | <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フレイル予防事業…フレイルチェック測定会 ■意識啓発・情報提供…プロジェクト推進講演会開催、福祉施設ボランティア推進事業、セカンドライフ情報誌「ステップ」改版・配付 ■ガイダンス・トライアル…絵本読み聞かせ講座、コミュニティビジネス推進事業、就労支援セミナー |
| <p>(進捗)</p> <p>フレイル予防事業は休止／「おうちえ」を発行(2,300部)／福祉施設ボランティア登録2人(施設0)／絵本読み聞かせ講座は前期コース延期、後期コース中止／CB推進事業は計画通りオンライン実施／就労支援セミナーは7月(22名)と9月(19名)に実施</p> <p>(課題と対応方針)</p> <p>フレイル予防事業は身体的接触を伴うため事業を休止していたが、測定を除いた非接触の測定会を11月から再開(令和元年度参加者対象)。実施計画事業であるため、政策企画課と調整し、実施圏域の拡大目標を1年後ろ倒しした。</p> | <p>(進捗)</p> <p>フレイルチェック測定会を11月から非接触(計測を除く形)で再開／プロジェクト推進講演会の枠で実施予定だったZoom講座は中止／福祉施設ボランティアの登録は無し／ステップの改版は完了／絵本読み聞かせ講座は延期後の予定どおり実施／CB推進事業は成果発表会を最後に事業終了／就労支援セミナーは10月(23名)と3月に実施</p> <p>(課題と対応方針)</p> <p>フレイル予防事業は、来年度から通常開催できるよう、調整中。中止になったZoom講座はスキームをそのまま活用し、来年度に実施予定。</p> |
| 担当 | 課、所名：長寿社会推進課 係 名：シニア活動支援係 |

7 啓発・広報

| 区民への周知 | | | | |
|---|-----------------------------------|---|-------|-------|
| 計画記載内容 | 事業概要 | <p>A I P広報紙「住ま居る～いつまでも笑顔で～」を年2回発行します。新聞折り込みによる全戸配布と関係機関への配布を行っています。また、区ホームページの公開、板橋区版A I Pの紹介ポスターの掲示など、広く周知を行っていきます。</p> <p>今後は、A I Pの各事業について、それぞれA I P構築に向けた事業であることをわかりやすく明示できるよう紹介方法等を検討していきます。</p> | | |
| | 指標 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| | 板橋区版A I Pの認知度 | 令和元年度調査より上昇 | | |
| 令和3年度 | | | | |
| 予算額 単位：千円 | (一般会計)：- (介護特会)：733千円 | | | |
| 上半期 | | 下半期 | | |
| (予定) ・A I P広報紙「住ま居る～いつまでも笑顔で～」第10号発行(8月) ・板橋区版A I Pポスターの掲示(10月) | | (予定) ・A I P広報紙「住ま居る～いつまでも笑顔で～」第11号発行(2月) | | |
| (進捗) 予定通り進捗している A I P広報紙「住ま居る～いつまでも笑顔で～」 ・10号発行(8月) ・新聞折込で各家庭に配布(8/28) ・区内各施設、医療機関、薬局等へ配架依頼(9月) 板橋区版A I Pポスターの掲示 ・10/11～15に本庁舎イベントスクエアへ掲示予定 ・図書館、ふれあい館、いこいの家、おとしより相談センター、社会福祉協議会、療養相談室にポスター掲示を依頼予定 (課題と対応方針) さらなる周知のために、新聞折込以外にも様々な機会を活用し工夫を行う。 | | (進捗) 予定通り進捗している A I P広報紙「住ま居る～いつまでも笑顔で～」 ・第11号発行(2月) ・新聞折込で各家庭に配布(2/26) ・区内各施設、医療機関、薬局等へ配架依頼(3月) (課題と対応方針) さらなる周知のために、新聞折込以外にも様々な機会を活用し工夫を行う。 | | |
| 担当 | 課、所名：おとしより保健福祉センター 係 名：地域ケア推進係 | | | |